

# 町田地区保護司会だより

第93号

発行 町田地区保護司会  
会長 平本 璋一  
編集 広 報 部  
TEL 042(794)6791



4羽のカルガモ

雪の薬師池と寒椿



## ごあいさつ

町田市青少年健全育成地区委員会連絡協議会

会長 宮島 栄一

町田市青少年健全育成地区委員会は、市全体で24の地区があります。それら地区委員会の連携を密にする連絡協議会なるものがありますが、その連絡協議会の会長をさせて頂き3期6年になろうとしております。その間、日頃より、より一層多くの青少年に関わる色々な団体の方々と連携を広げ意見交換が出来ないものかと考え活動して参りました所、図らずも昨年半ば、保護司会の会長平本氏よりお声をかけて頂き、意義のあるお話し合いをする事が出来、私ども健全育成の会として本当に感謝申し上げる次第です。

早速、この年頭より新春の集いに参加させて頂き、保護司の皆様の中で、なんと大勢の方が健全育成の委員及び、地区会会長等と関わって下さっているかを知り、大変心強く、また、感謝と感動との思いでいっぱいとなっている所でございます。

この何十年間かの町田駅周辺の発展速度は、他の街にはない程で、街の安全の為の計画が追い付かな

い状態で、その結果が一時は「第二の歌舞伎町」とまで言われた時期もありました。が、そうした中であって、健全育成の基本理念『子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創りだす』を目標に、24の健全育成地区委員をはじめ行政、警察、地域等子ども達に関わる本当に多くの方々が一丸となって日夜取り組んで下さり、ここ何年間か犯罪件数の減少という結果を見ております。

発足以来45年を迎えるこの会ですが、まずは親である私達大人が成長し、子どもと共に将来への夢と希望を共有しその夢の実現に向け進んで行ける環境づくりをして行きたいとの熱き思いで日々活動を続けておりますが、これは、貴会の方々も皆様同じ思いで懸命な努力をされていると存じます。

これからの貴会の益々のご発展をお祈り致すと共に、どうか連携を密にとりながら日本の未来を託す子ども達の為に頑張りたいと存じます。

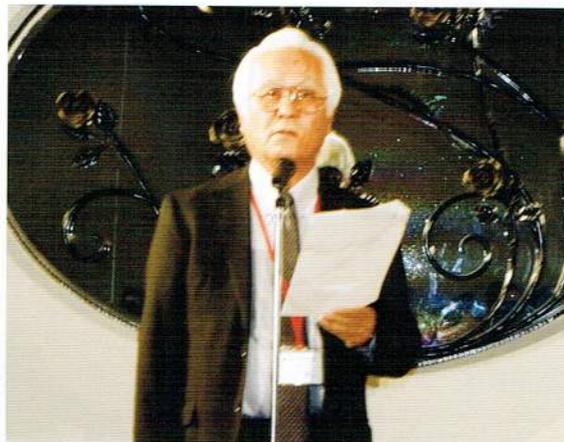
どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 平成26年 新春の集いを開催

— 連携を深め、和気藹々と —



杉山立川支部長



平本町田地区保護司会会長



石阪町田市長



森久保多摩連会長



田中町田市議会議長



金子町田警察署長



上谷町田地区更生保護女性会会長



宮島青少協会会長



佐藤教育委員長

好天に恵まれた1月16日、恒例の「新春の集い」がホテル ザ・エルシィで開催された。出席者86名、盛況のなか、会は藤牧総務部長の司会で進められた。

第1部、まず平本会長の挨拶があり、「社会を明るくする運動」をはじめ、町田保護司会活動の輪を広げていきたいとの思いが述べられた。また、それには地域の諸団体との連携が大切であり、そのための指導・支援を仰ぎたいとの要望も語られた。続いて嶋崎副会長より25年度各章受表彰者が紹介され、該当者には記念品も贈呈された。時間の関係で出席いただいた各団体代表者のご祝辞は、杉山東京保護観察所立川支部長、石阪町田市長、森久保多摩連会長など10名に限られ、14名の方は紹介のみとなった。

祝辞ではサポートセンターの活動や鶴舞会の活動への賛辞、各団体の協力で刑を終えた人達を「お帰りなさい」と温かく迎える町田にしたいとの決意など会長挨拶を受けとめた心強い支援の声が寄せられた。金子町田警察署長からは町田の治安の良さ、犯罪件数の減少など地域的取り組みの成果とも言える状況も紹介された。

新春の集いが単なる形式的な顔合わせの場ではなく、関係諸団体が力を合わせて犯罪の無い地域づ

くりを進める意思疎通の貴重な時間であることが実感出来るそれぞれの方のご祝辞であった。

第2部は村田総務部副部長の司会のもと、池田桐友会長の乾杯の音頭で懇親会へと移行した。会は各分区さらに来賓の方々も登場しての美声が披露されるなか和気藹々と進められたが、井上前研修部長の各方面への謝辞をこめた「ありがとう」の朗々たる歌声の響きを余韻に残しつつ諸墨副会長の閉会の挨拶で散会となった。

(広報部副部長 鬼頭 明成)

### 主なご来賓

- 杉山 多 恵 東京保護観察所立川支部長
- 石 阪 丈 一 町田市長
- 森久保康男 多摩地区保護司会連絡協議会会長
- 田 中 修 一 町田市議会議長
- 金子 伸 司 町田警察署長
- 佐 藤 昇 町田市教育委員会 教育委員長
- 渋谷 友 克 町田市教育長
- 宮 島 栄 一 青少年健全育成地区委員会連絡協議会会長
- 上谷さと子 町田地区更生保護女性会会長
- 武 井 和 宏 東京保護観察所町田地区担当主任官
- 池 田 道 夫 桐友会会長

# 研修特集

平成25年度 自主研修及び特別研修報告

## 『詩が開いた心の扉』 (空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所 詩集)

奈良少年刑務所の社会性涵養プログラム「物語の教室(童話と詩)」の講師となり、現在12期目の授業を務めている寮美千子先生を講師に迎えて、自主研修会を1月28日(火)教育センターで実施した。

寮先生は、著作された絵本の輪読や詩の創作活動、さらにその感想を発表する授業を行っている。この授業を通して、人間の心や安らぎや社会性が少しずつ育つことを実感している。各自で詩を創作して、心の奥にある悲しみや悔恨の心を自己表現する授業では、仲間に認めてもらうと、犯罪や非行をした少年達に他者への思いやりの心が生まれる。

受刑者から学ぶものがあり、その成果が「空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集」である。

この講演の感想や特に心に響く先生の言葉として『少年の言葉「僕にはお母さんがいません」。友達がお母さんに甘えている時に、この

少年はどんな気持ちでいたのだろうと思うと、涙が出てきました』。『誰かに受け止めてもらうと、人は変わり、人の輪の中で育つ』『人間として対等な関係が大切。相手を否定しない』。『心が大きく変わると、本来の姿に戻る』など寄せられた。

保護司の活動に共感できる内容であり、社会貢献の心構えと大切さを再認識できて、有意義な自主研修会となった。なお、講師の略歴や活動、絵本・童話・詩・小説などはHPをご覧ください。(研修部 梅木 信一)



絵本を活用したプログラムの再現  
[向かって、右側が講師の寮美千子先生]

## 保護司特別研修報告

本年度は、精神障がい対象者の処遇(第1回)、薬物依存(第2回)、社会貢献活動(第3回)、更生保護における新規施策・立法(第4回)が実施されました。

そこで、参加された方に研修内容について報告をお願いいたしました。

## 精神障がい者等対象者の処遇

- 日時 6月19日 13時～
- 会場 東京保護観察所 1階集団処遇室

研修には、精神障がい等対象者を担当している保護司、約100名が参加しておりました。

町田地区保護司会からは、熊澤洋相談役を含め2名でした。

研修内容は、「発達障がい・精神障がいを理解する」と題し、東京保護観察所 統括保護観察官 武田玄雄氏による講義と質疑応答。

事前に質疑意見書を提出する機会がありました。そのため、多くの質疑意見書が、担当者に寄せられたそうです。それに基づいての応答や見解などがあり、定刻を過ぎての多い研修となりました。(町田分区 中里 真二)

## 『薬物依存への対応』に参加して

覚せい剤事犯対象者については、平成20年の更生保護法の施行に伴い、特別遵守事項によって「覚せい剤事犯者処遇プログラム」の受講が義務付けられました。その後、平成24年度からは、集団処遇プログラム等も実施され、再乱用防止の充実強化が図られています。

講義1は、都立松沢病院医長の梅野充先生の「覚せい剤による精神障がいについて」の講義でした。乱用薬物は脱法ドラッグをはじめさまざまなものがあることや、ダルクや専門的施設でのねばり強い治療が必要であることを学びました。

講義2は、藤井淑子統括保護観察官の「覚せい剤事犯者プログラムの実際」の講義でした。覚せい剤事犯者は、コア1～コア5までの課程を受講し、さらに毎月1回程度フォローアップ研修を保護観察期間終了まで受け、再乱用の防止に向けた支援が強化されていることを学びました。

今回の研修を受け、薬物による精神障がいと事犯対象者への対応についての知見が深まりました。

(鶴川分区 吉川 和男)

忠生分区 社会参加活動

明るく元気に清掃活動



平成25年12月15日忠生公園において忠生分区主催の第4回社会参加活動を実施した。

今回は日曜日でもあり昨年より多く対象者（6名）が参加した。保護観察所武井主任官、町田警察署、更生保護女性会、町田市役所福祉総務課、保護司など31名が参加した。

午前10時より、原分区長、平本会長の挨拶の後、各班に分かれ公園内外の落ち葉清掃を開始した。今回は前日の強風で枯葉はすべて落ち、落ち葉は多量にあったが、昨年に比べて落ち葉を掃いても枯葉が落ちて来ない分スムーズに作業ができ、また、快晴に恵まれ風もなく対象者も一生懸命に作業をし汗ばむほどであった。途中休憩時間もあり、対象者ともいろいろと会話をすることができた。

炊事班の食事ができるまで時間がある為、全員で公園広場の芝生の上に落ちている落ち葉等をかき集め予定の時間になり作業を終了した。

昼食は、炊事班が作ったカレーライスを全員で美味しく頂いた。食事後アンケートを記入して頂きながら対象者全員に感想を一言お願いしたところ全員明るく、清掃活動をして良かったと意見を述べ、また、各班のリーダーより対象者に対して「全員が率先して清掃活動をしていた」とのコメントがあり対象者も笑顔になった。終わりに、武井主任官より講評を頂いて解散した。

(忠生分区 坂倉 優)

堺分区 自主研修

少年犯罪の現況について

平成25年11月22日、小山市民センター第2会議室において、堺分区自主研修を行った。講師は八王子南警察署生活安全課少年第一係長神戸肇警部補にお願いした。

研修内容は、八王子南警察署管内及び、関係する近隣の町田市、相模原市の最近の成人犯罪および、少年非行の動向と対策について話があった。

成人の犯罪件数は若干減少傾向にあるものの、高齢者の占める割合が増加しているうえ、軽微な万引き等で再犯率が高くなっている。

少年非行については、振り込め詐欺等で成人に唆されて摘発（高校生含む）された事例、遊ぶ金を得るために風俗店で働いていた事例、また、携帯やネット利用の具体例が話された。

最近、中高生の万引き事犯が増加傾向にあるとのことであった。

他には児童虐待が増加傾向にあると考えられるが、この種の犯罪の防止には市民の防犯に対する意識と協力が不可欠とのことであった。

(堺分区 井上 三夫)

各分区の活動

鶴川分区の活動

初心に戻って

私たち鶴川分区は月一度の分区会、春と秋に懇親会を行い会員の交流を深めている。今回は昨年11月に実施した「鶴川地区地域懇談会」の報告をした。今回は2月24日の分区会で話題になっていたが深まらない日ごろの悩みの交換を行った。

実施をするにあたって研修担当が会員の悩みを想定して役員会に提案した。役員会では話題の内容を「面接に関わる事」として、次のように絞り込み懇談を進めることとした。

- ①面接対象者の犯罪や非行歴と面接時の不安や負担
- ②書類作成時の負担や悩み
- ③保護司活動と家族の理解
- ④保護司相互の支援や助言への期待度
- ⑤経済的な負担

個々の項目の様子については紙面の都合で省略するが、どの項目も十数名の会員が大なり小なり、悩みを持っているということが共有でき安心感が生まれたことが成果であった。

(鶴川分区 榎本 真幸)

平成25年

町田市社会福祉協議会表彰式  
及び創立55周年記念表彰式

下記の桐友会・保護司会の4氏に対し、去る10月26日の町田市社会福祉協議会55周年記念式典に於いて個人感謝状が贈られました。

- ・桐友会 中里 猪一 加藤 薫憲
- ・保護司会 嶋崎 了一 村上 正博

(広報部)

町田分区 11月28日 於町田警察署

### 町田における 覚醒剤事案と青少年事情

生活安全課曳地課長から9月赴任の新係長竹生氏の紹介を受けた。

町田警察署始まって以来の女性係長とのこと。剣道の達人という実に凛々しい方の出現に一同感嘆の声を上げ講演を受けた。

最初に30分の“NO!ドラッグ 人生の分かれ道”ビデオを鑑賞。①薬物についての解説 ②薬物依存の実態 ③薬物乱用の誘惑の状況例 ④転落の人生 ⑤薬物の取り締まりの現状 ⑥断り方

次は質問形式で町田の実情を聞いた。以前のような外国人による違法薬物の販売は減少。脱法ドラッグ販売業者も取り締まり後減少。しかし、ネット販売等網の目をくぐっての売買はある。脱法ドラッグは人によっては違法薬物同様生命に関わる症状が出る場合もあり危険。不審な状況があれば通報して欲しい。町田の犯罪は全体的に減少。しかし、オレオレ詐欺等の被害は増加している。用心して欲しい。

以上警察署内での研修は、生活安全課長の「保護司会は“安心安全な町づくり”という同じ目線で今後も協力できる組織である」というご挨拶通り、親近感と共に町田を守って日々活躍して下さっている実感と社会参加活動等の役割の必要性を再認識、一同大いに満足して散会した。

(町田分区 橋田 恵子)

南分区

### 鶴舞会在会者交流会

11月24日「そば打ち学習会」が更生保護施設鶴舞会で開催されました。在会者14名、職員4名(内保護司3名)、嶋崎副会長と南分区保護司8名の総勢27名が参加。おそば、バーベキュー、山形風芋煮と盛りだくさんのメニュー。テントや火の準備、大量の野菜を切るなどワイワイ賑やかでした。

そば打ちが始まると、松沢分区長の巧みなお話と手さばきにみんな食い入るように見入りました。大きな包丁でトントンと切られる様子も圧巻。茹であがったおそばを冷水でしめながらの盛り付けも大忙し。「多めにして下さい!」等の声もあり待っている間も楽しそうでした。ただ盛り付けを「公平に!公平に!」と気を配っていらっしゃる職員の方のご様子から日頃のご苦労が偲ばれました。

最後に代表3名の方がお礼のご挨拶をされましたがその様子も一生懸命で印象的でした。お腹一杯で満たされた顔の在会者が見送って下さる中「一日も早く皆様が社会復帰できます様に!」と願いつつ一同帰路に着きました。

(南分区 市川 恵子)

### 各分区の活動



### 第63回

### “社会を明るくする運動” 作文コンテスト優秀賞表彰式

平成26年1月9日(木)東京保護観察所集団処遇室に於いて第63回“社会を明るくする運動”作文コンテスト優秀賞の表彰式が行われました。

東京都の優秀賞は、小中校合わせて14作品で、町田市から2作品(小山中・忠生中)が選ばれ、作文コンテスト選考委員から賞状と記念品が授与され式終了後、町田市へ戻り石阪市長への表敬訪問をし、受賞報告をしました。おめでとうございます。尚、入賞及び奨励賞は、右記の通りです。

多数のご応募ありがとうございました。次年度も沢山の応募をお待ちしております。

(地域活動部長 内田 絢子)

#### 優秀賞

「輪を広げていくことで」

町田市立忠生中学校1年 長谷山 葵さん

「受け入れる」

町田市立小山中学校1年 山本 彩由さん

#### 佳作

「犯罪や非行を防ぐためには」

町田市立成瀬中央小学校6年 清水 陸大君

#### 奨励賞

- 町田市立小山中学校
- 町田市立忠生中学校
- 町田市立つくし野中学校
- 町田市立町田第一中学校
- 町田市立南成瀬中学校



中学生受賞者とお母様

## 厚木地区保護司会との「交流会」実施される

平成25年11月19日(火) 於サポートセンター町田



菊の香薫る秋晴れの日、かねてから交流のある厚木地区保護司会の須藤会長をはじめとし、サポートセンター長の遠藤副会長、事務局長の横谷常務理事、前頭書記担当理事、本杉協力組織部会長、細野犯罪予防副副会長、座間薬乱防止指導員、通地研修担当理事、小金犯罪予防担当理事の総勢9名の皆さんがおいでになりました。

サポートセンター厚木の運営を担う皆さんは、予定よりも30分早く到着され、直ちに中里センター長の案内でセンター内（1号館会議室、2号館事務室等）を見学し、意見交換会が嶋崎副会長の司会でスタートしました。平本会長の歓迎の挨拶、須藤会長の挨拶、各自の自己紹介、続いて厚木地区保護司会の概況説明。特に厚木市、愛川町、清川村の3市町村が一体となつての運営状況には、興味深いものがありました。また、事務局機能の

他に面接室としての活用の活発化、協力雇用主増強の中心的役割の発揮等大いに参考となる意見を頂きました。

町田の概要は、13名を代表し中里センター長が準備資料をもって「瀬戸山賞」受賞の経緯などもふくめ々々説明、充実した意見交換会となりました。定刻16時半、意見の尽きない、話し足りない部分は次の会場だという事で、ホテルヴィラ町田に全員で移動。諸墨副会長が乾杯の発声をして懇親会はスタートしました。小山副会長が本厚木駅前が誕生の地という厚木ルーツ話もあって、厚木地区の皆さんも大いにリラックスして楽しいひと時を共有することになり、アツと言う間に19時。お互いの研鑽を誓い合い散会となりました。

(企画調整保護司 鈴木 忠)



### 協力事業主会の設立に向けて

本年度、当保護司会の就労支援に対する方針が決定しました。昨年度、手を挙げて頂いた協力事業主の会社を紹介保護司と事業担当者で訪問しました。その際、今後の方針の説明と、情報アンケートカードの提出を依頼しました。

2月5日に町田市民ホール会議室で、協力事業者との打ち合わせを開催し、事業主会の新たな設立に向けて協議し、一步を踏み出すことが出来ました。現在、17社の協力事業主がありますが、中には民間篤志家として東京保護観察所長感謝状を受彰した事業者もあるほど、既に積極的に出所者の雇用に協力を頂き、改めて感謝する次第です。

犯罪歴や非行歴があるため雇用が進み難いことに加え、対人関係や社会適応能力の問題を抱え、就労は大変難しい状況にあります。この事業を通じて一人でも多くの方が早期に就職できるよう取り組みたいと思います。どうか事業主会の趣旨をご理解頂き、会の拡張にご協力をお願い致します。

(就労支援担当企画調整保護司 村田 功)

### 防犯合同パトロール

地域防犯合同パトロールが12月9日、歳末多忙の中、町田警察署、加藤課長代理、竹生少年第一係長、森少年第一係主任、平本会長、諸墨副会長、小山副会長、地域活動部5名と更生保護女性会から上谷会長、若林副会長、吉田副会長他3人が参加。A班とB班の二手に分かれ5時半にスタートしゲームセンター・カラオケボックス等、1時間半のパトロールを実施しました。

時間帯が日没後の比較的早い時間であったせいか防犯上特に問題行動の場面には遭遇しませんが、参加したメンバーの方々は一様に町田の日々、変容を続ける繁華街に驚嘆していました。

賑わいは相変わらずですが、変化の中でも以前と比較して防犯カメラ、飲食店の増加、店構えが洒落て広告塔がポエム風になったなど銀座、新宿と引けを取らないほど歓楽街の様相を呈してきました。終了後、生涯学習センターにて反省会を実施し成果と課題等、次年度に向けての話し合いをし解散しました。(地域活動副部長 平田 紘一)

# 法務大臣表彰を受彰して



鶴川分区

萩生田 勝利

去る11月26日、思いも寄らぬ過分な表彰を賜りました。身に余る光栄であります。これも偏に観察所、並びに先輩保護司の方々のご指導のお陰と深く感謝申し上げる次第です。

想えば平成5年、着任以来、自らを律しつつ、多くの対象者に真摯に向かい合い更生に努めて参ったつもりであります。昨今、非行の低年齢化の傾向を実感しつつ未然に防止する為の諸活動の重要性は言うに及ばず、将来ある若者の再犯防止に努めるべく自分なりに対象者を取り巻く環境等を予習し処遇を行って参りました。

もとより微力でありますので、今後共更に研鑽を積みたいと存じます。引き続き関係者各位にはご指導頂きますようお願い申し上げます受彰のご報告と御礼の言葉とさせていただきます。



南分区

内田 絢子

この度、平成25年東京都保護司会連合会創立60周年記念東京更生保護大会に於いて、法務大臣表彰の栄に浴しました。

これもひとえに関係機関及び保護司の皆様方のご指導、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

平成4年に委嘱を受け、少年から大人まで数々の対象者と向き合い、絆を保ち、元気で明るく和やかに、他人を思いやる心を僅かでも感じて次のステップに進めるよう寄り添う事を心掛けてきました。この時代の流れの中で、対象者の親から情報を得たりして安堵した出来事とか、夜中に交通事故を起こしたので事故現場まで迎えに来て欲しい等、日々の経験をして乗り越えながら共に成長し、貴重な勉強をしている途中でございます。

これからは、受彰に恥じぬよう元気で活動できます様に努力をし、精進していく所存ですので、これまでも増して皆様どうぞよろしくようお願い申し上げます。ありがとうございました。

## 各部紹介 ②

### 財務部

財務部 副部長 大谷 郁子

部長退任後、部員3名は、力を合わせて業務を遂行しております。年間の業務は次の通りです。

- 4月 ・会計監査 ・予算原案作成 ・定期総会準備  
・定期総会
- 5月 ・会計事務及び引き継ぎ(役員改選時のみ)  
・各分区へ分区活動参加者名簿(報告書)を配布  
・PCの年次変更 ・各部・各分区へ活動費配布  
・更生保護女性会助成金支給  
・町田市へ補助金申請  
・保護司会事務担当者運営連絡協議会出席(2名)
- 6月 ・保護司実費弁償金請求及び受領に関する委任状本庁送付
- 7月 ・社明月間、町田大会
- 9月 ・中間決算…町田市へ補助金申請に使用  
(予算執行状況)  
・一般地域活動及び学校との連携活動参加保護司名簿提出  
申請期限は9月末日 本庁へ送付

- 10月 ・支弁経費精算(上半期交通費)  
・町田市へ申請…上半期事業実施報告書  
・予算執行状況報告書
- 11月 ・一泊管外研修実施につき、経費精算
- 12月 ・各分区社明活動経費の請求確認
- 1月 ・新春の集い
- 2月 ・次年度事業確認及び予算原案準備  
・更生援助活動参加保護司名簿提出及び保護司組織活動費の申請…2月末まで本庁へ提出
- 3月 ・支弁経費精算…年次決算…次年度事業確認及び予算原案策定
- 通年 ・月次会計処理 ・予算執行管理 ・決算管理  
・分担金、購入品、経費等清算業務  
・活動費支弁…各分区(社明活動経費、社会参加活動費、分区自主研修)



左より鈴木忠・大谷郁子・鈴木定彦氏

### 平成25年度 受彰祝賀会を開催

12月6日、立川グランドホテルに於いて、多摩地区保護司会連絡協議会受彰祝賀会が開催されました。今年の立川支部管内の受彰者は、叙勲6名・褒章4名・法務大臣表彰13名・全国保護司連盟会長表彰21名で、計44名でした。

当日は、受彰者34名とご来賓、多摩連理事等、総勢108名が集い、賑やかな会となりました。正午に第一部が開宴。佐伯総務部長の司会により会は進行し、森久保多摩連会長、大矢東京保護観察所長の挨拶、そして、出席受彰者34名が紹介され、ご来賓の菅田東京都保護司会連合会長、中野東京更生保護女性連盟会長より御祝辞を頂き、受彰者を代表し馬場氏（日野・多摩・稲城地区保護司会）が謝辞を述べられました。

第二部は、杉山多恵立川支部長のご発声による乾杯でスタート。ゲストの町田地区の中里真二保護司がプロ並みのマジックを披露し、約3時間にわたる祝賀会も閉会となりました。 (広報部 要約)

### 退任保護司ご挨拶



町田分区  
塩原 隆幸

このたび、一身上の都合により退任させて頂きました。平成12年に委嘱を受けまして13年半の間、会長をはじめ役員、会員の皆様には、ご指導ご協力をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。保護司会での貴重な経験をこれからの生活にも活かしていければと思っております。

最後に、町田保護司会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。



忠生分区  
富岡 淳一

町田市役所退職と同時に保護司を拝命させていただきました。私は長年、障がい者福祉、特に、精神障がい者へのケースワークと相談支援を行ってまいりました。この経験を保護司のお役に立てればとお受けしましたが、このたび一身上の都合で任期満了前に退任させていただくことになり、大変ご迷惑をおかけし申し訳ございません。今後の町田地区保護司会のご発展をお祈りしております。短期間でしたが、ありがとうございました。

### 新任保護司ご挨拶



鶴川分区  
小原 良雄

定年退職後の再任用等の職務が終わり鋭気を養っておりましたところ、ご推薦を頂き2月1日付けで保護司を委嘱されました。当初は、なかなかの重責ですので迷いました。しかし、現職の折りは地域の皆様には様々な形でご助力を頂きましたことを思い出し、私ができる範囲の努力をしていこうと思ひ直しお受けしました。

先輩の皆様のご指導を賜り任を果たして参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



町田分区  
渡邊 泰史

私は町田市玉川学園在住の渡邊泰史と申します。

我が家の子供が通う学童の先生よりお話を頂き、保護司になることになりました。当初私は、保護司というものが何かまったく知らず、色々調べ理解していくうちにとっても重要な意義のある仕事だと感じました。

人の相談にのり、そっと背中を押してあげられ、共に進んでいければと考えております。不安もあります先輩方にご指導を頂きながら頑張りたいと思ひます。よろしくお祈りいたします。

### 編集後記

私事で恐縮だが、記録的な豪雪が降っている2月14日の夜とその翌日に車で外出した。立ち往生した車を大勢で押ししたり、周りの雪を掘ったりしている。そして、やっと動き出した車の窓から感謝の手をあげ走り去る車。それを見送る人達もシャベルを掲げそれに応える。そんな風景を幾度となく見かけた。

何とか帰宅し、遅まきながら我が家を通じる道路の雪かきを始めたら、かまくらを作っていた親子が手伝いに来てくれた。近くでは大勢の子供たちが雪だるまを作ったり、雪合戦に興じたりしていた。いつも学習塾に行ったり、家の中でゲームでもしたりしているのであろうか、ついぞ見たこともない数である。

見知らぬ人同士の助け合い、親子や近所の子供が揃っての雪遊び。被害にあわれた方には申し訳ないが、良い物を見せてもらった2日間であった。

ところで、今号の原稿の締め切りはその大雪の翌日、2月15日でした。難儀ななか、原稿をお送り下さり、ありがとうございました。

(小川 洋一 記)